

日本トリム、電解水素水の肝臓保護メカニズム解明

日本トリム（06・6456・4600）は25日、早稲田大学との共同研究で、電解水素水によるアルコール耐性のメカニズムに関する論文が、スイス・MDPI社が発行する科学誌「Antioxidants」に19日付で掲載されたことを発表した。

これまで不明だった電解水素水の肝臓保護におけるメカニズムを細胞実験で検証。電解水素水はアセトアルデヒドの量を減らすことで活性酸素種の生成を抑制し、エタノールから肝細胞を保護することを確認した。そのメカニズムとして、電解水素水がALDH（アルデヒド脱水素酵素）の活性を高めることでアセトアルデヒドの分解を早くする一方で、ADH（アルコール脱水素酵素）の活性を低下させることでエタノールからアセトアルデヒドの生成を抑制することが明らかになった。

「電解水素水中に溶存している水素が、エタノール毒性への肝細胞の保護効果に主要な役割を担っている」としている。